

\*\*\*\*\*



# 広報 かんべ

\*\*\*\*\*

発行日 平成22年4月1日 第1号  
編集・発行 神戸地区市民センター  
(神戸公民館・神戸地区住民自治協議会)  
電話・FAX 38-1300  
E-mail kanb-a15@ict.ne.jp

## 4月の行事予定

日 時	行 事 名	日 時	行 事 名
4月6日(火)AM10～	神戸小学校入学式	4月25日(日)PM1～	神戸地区戦没者慰霊祭
4月6日(火)PM1:30～	丸山中学校入学式	4月25日(日)PM2:30～	神戸神社春季大会
4月18日(日)PM8～	かんベスポーツクラブ総会	4月25日(日)PM7:30～	神戸地区住民自治協議会総会

## 平成22年度各地区区長さんご紹介

† 栞川区長 岸上 勇	† 古郡区長 鍛 勝昭
† 上林区長 ○福井 宏	† 比土区長 永濱 金正
† 下神戸区長 森本 昭生	† 朝日ヶ丘町区長 木村 清俊
† 上神戸区長 ◎家柳 昭彌	

◎は会長 ○は副会長

### 退任のご挨拶

前神戸地区自治連絡協議会会長 辻本 正行

春の陽射しが柔らかく感じられる今日この頃、神戸地区の皆様には、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

さて私こと、この度、神戸地区自治連絡協議会会長の職を3月31日をもちまして、退任させていただくことになりました。振り返ってみますと、平成20年度より古郡区の区長として神戸自治会に関わって、初めて神戸地区全体をおぼろげながら知ることになり、この任の大変なことを改めて認識した次第です。そうした中、2年目には分不相応な身で会長職を受け、1年間を過ごして参りましたが、この1年間は本当に長く感じた1年でもありました。

爾来、自治連絡協議会と住民自治協議会との共生、協働を図りながら、それぞれの事業を進めてきたところです。また、各種事業、組織へ地区代表として参加もしましたが、とりわけ中学校の校区再編の問題では、皆様のご協力をいただきながら努力をしてまいりました。お陰で、一定のご理解を得たものと信じ、今後は通学環境の整備を充実していくよう働きかけていただきたいと願っております。

最後に、区長会の皆様、並びに神戸地区の皆様のご支援とご理解をいただき、また、事務方のご協力も得まして、職責を全うすることが出来ましたことを心よりお礼申し上げます。今後、益々「地域が輝く！！」神戸になるとともに、皆様のご健勝とご多幸を祈念申し上げ、退任の挨拶といたします。

ありがとうございました。



# 神戸小学校校舎の耐震診断結果が報告されました!!

伊賀市教育委員会の説明による「神戸小学校校舎の耐震診断結果とその対応に関する懇談会」が、去る3月15日(月)に神戸地区・きじが台地区住民自治協議会役員に、3月28日(日)には保護者の方々を対象に開催されました。

伊賀市教育委員会から説明された耐震診断結果の概要は下記のとおりです。



## ◆神戸小学校耐震診断結果概要◆

昨年11月から実施してきた神戸小学校の耐震診断結果は、Is値（構造耐震指標）が0.26となりました。Is値（構造耐震指標）とは、建築物の耐震性能(地震に対する安全性)を数値化したもので、各階ごとに算出し、最も小さな数値をもって判断されます。

神戸小学校の耐震診断結果では、X方向(東西方向。下記耐震結果表のIsxの欄)の耐震力が弱く、Y方向(南北方向。下記耐震診断結果表Isyの欄)は、0.91と非常に強い強度を示しています。

神戸小学校校舎は、昭和31年に建設された鉄筋コンクリート造3階建の校舎(54年経過)です。もちろん、当時の建築基準法に準拠して建設されました。しかし、十勝沖地震や宮城県地震などの震災を経験することにより、耐震に対する考え方が昭和46年、昭和56年の2度に渡って変更強化されてきました。従って、こうした旧耐震基準を適用して建築された建物は、現在の基準を下回っている例がほとんどです。

そこで旧耐震基準を適用して建築された建物の耐震力を示す指標として、Is値（構造耐震指標）が用いられています。そして、耐震改修促進法及び文部科学省では、学校施設の耐震指標の判定基準を0.7以上としており、それ以下の建物については、耐震補強の必要性があると考えています。

しかし、神戸小学校の東西方向のIs値0.26という数字は、現在の伊賀市役所北庁舎西側の耐震診断結果と同じ数字です。ただ、4年ほど前に社会問題化した「耐震偽装問題」ではIs値は0.3程度と報道されていたので、何らかの対応を要する耐震診断

耐震診断結果表

	Isx	CtUSD	Isy	CtUSD
3 F	0.37	0.56	1.59	1.92
2 F	0.26	0.39	1.24	1.50
1 F	0.30	0.45	0.91	1.10
最小値	0.26	0.39	0.91	1.10

結果であると言えます。特に、阪神淡路大震災（H7年）において、Is値が0.3以下の建物の被害が大きかったと報告されています。

こうしたことから、この耐震力不足への対応について、「耐震補強を行う」「中学校校区再編後の小学校統合を促進する」「依那古小学校、比自岐小学校など利用の暫定統合を行う」などの対応方法が考えられます。

今後、地域と教育委員会が共に協議をすすめ早期に対応を図る必要があります。

## ◆◆◆「広報かんべ」発行のお知らせ◆◆◆

これまで「神戸公民館だより」と「かんべ（住民自治協議会だより）」を別々に地域広報として発行してきましたが、本年4月から「広報かんべ」として一本化して発行いたします。発行日は、これまでと同様月2回（1日と15日号）です。今後ともご支援、ご協力をお願いします。